

ニューフェイスコーナー

新規開業ご挨拶

宇部市医師会 たるもと耳鼻咽喉科クリニック

樽本 俊介

たるもと耳鼻咽喉科クリニックの樽本俊介です。2022年4月21日に宇部市東須恵で開業いたしました。

私が耳鼻咽喉科医となったきっかけは、学生の時に先輩耳鼻咽喉科医からの一言に感銘を受けたからです。その一言とは「耳鼻咽喉科分野は聴覚・嗅覚・味覚・摂食嚥下・会話などQOLに大きく関わっており、その診療ができることは素晴らしいことである」でした。確かに人と人とのコミュニケーションでは話すことや聞くことは不可欠ですし、味覚・嗅覚・摂食嚥下に関しては美味しいものを食べることに喜びを感じるのに必要です。

人々のQOLの充実に役に立ちたいということから耳鼻咽喉科医を目指すこととなりました。研修医を終え、耳鼻咽喉科医として働く中で、山口大学医学部附属病院では耳鼻咽喉科の基礎知識や手術の理論を学び、山口県内のさまざまな市中病院では大学で学んだ知識を実践してきました。耳鼻咽喉科分野の一般診療や手術治療を経験し、平成28年からは山口大学医学部附属病院にて嚥下と睡眠時無呼吸症候群の分野の専門外来を担当させていただきました。これまで摂食嚥下と睡眠時無呼吸症候群の分野の知識は多くなかったため、専門外来を担当することにより、知識を増やすこと



ができました。摂食嚥下の障害を起こす患者さんは口腔咽喉頭の悪性腫瘍を手術した患者さんや神経筋疾患に罹患した患者さんなどさまざまな患者さんがおり、専門外来での診療やリハビリテーションによる治療は有意義でした。しかし、山口大学医学部附属病院での摂食嚥下のリハビリテーション治療は同病院に入院され治療を受けている患者さんに限るため、加齢性変化や喫煙など咽喉頭の慢性炎症を契機とする嚥下障害を訴える患者さんについては診療や治療をする機会がありませんでした。また、入院にて口腔咽喉頭の悪性腫瘍を手術した患者さんや神経筋疾患に罹患した患者さんが退院した後、外来通院にて継続してリハビリテーション治療を行える病院が少ないという現状がありました。そこで手術治療を終え退院した患者さんや、加齢性変化でちょっと摂食嚥下について診て欲しいとい

う患者さんが気軽に摂食嚥下リハビリテーションを行えるように貢献したいという思いから開業させていただきました。

開業から数か月経過しましたが、摂食嚥下機能を向上させたいという患者さんに来院いただき、摂食嚥下リハビリテーションを提供することができ、充実した日々を送っております。今後、摂食嚥下の分野を筆頭として聴覚や味覚・嗅覚などの分野でも患者さんに分かりやすい説明を心がけ、適切な診断と治療を行います。気軽に来院していただける耳鼻咽喉科専門医のクリニックとして、皆様のご期待に沿えるよう努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

表紙写真の募集

山口県医師会報の表紙を飾る写真を随時募集しております。

アナログ写真、デジタル写真を問いません。

ぜひ下記までご連絡ください。

ただし、山口県医師会会員撮影のものに限ります。

〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会総務課内 会報編集係

E-mail : kaihou@yamaguchi.med.or.jp

多くの先生方にご加入頂いております！

お申し込みは
随時
受付中です

医師賠償責任保険

所得補償保険

団体長期障害所得補償保険

傷害保険

詳しい内容は、下記お問合せ先にご照会ください

取扱代理店 山福株式会社
TEL 083-922-2551
引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社
山口支店法人支社
TEL 083-231-3580



損保ジャパン